

『改訂版ポプラディア』用謎リスト の答え【1巻】

1巻 あい	
A	奇妙なエビ(108頁)
	チキンラーメン(285頁)
	やなせたかし(175頁)
	ニシン目ニシン科(273頁)
	アフリカのマダガスカル島(20頁)
	それいけ！アンパンマン(175頁)
	アメリカ合衆国(133頁)
	最大7m(265頁)
	泳ぐことができる(266頁)
	4m以下(268頁)
B	白亜紀後期に生息していた巨大なウミガメ(17頁)
	チョウやガの幼虫の真かで頭から腹の先までが同じくらいの太さで比較的大きくからだにめだつ毛がないものをいう(261頁)
	岩が小さなかけらにくだけたもの(195頁)
	アミガサタケ科アミガサタケ属のキノコ(127頁)
	サンショウウオ目イモリ科の両生類の総称(261頁)
	耳たぶに付けるアクセサリー(261頁)
	といた卵に塩砂糖などを加え、フライパンやなべでそぼろ状にいったもの(266頁)

B	洋服やからだなどにつけるかざり(65頁)
	うすい藍色 古くは浅葱(浅黄)色と書いていた(73頁)
	パンやビールなどをつくるとき、原料をアルコール発酵させる酵母のことでふつうはパン酵母をさす(178頁)
C	コンピュータのソフトウェアやハードウェアを実際に使えるようにコンピュータに記憶させたり接続させたりすること(285頁)
	細胞から分泌されるウイルスのはたらきをおさえる物質(286頁)
	チョウ目タテハチョウ科の昆虫(73頁)
	常に強さが変わらない電流とそれが作る磁界との関係をあらわす法則(175頁)
	はくちょうざのくちばしの位置にある3等星(158頁)
	ペガスス座の胴体にある3つの星とアンドロメダ座の α 星がつくる四角形(62頁)
	ハチ目アリ科の昆虫の総称(148頁)
	野菜や山菜などのにがみや渋みえぐみをとりのぞくこと(66頁)
	入浜式塩田という製塩の方法のひとつ(266頁)
	鎌倉時代後期から室町時代にかけて幕府や荘園領主などの支配に武力で反抗した集団(66頁)
	毛糸などの糸のループ(輪)を連続してつくり、ある形にしあげること。また、しあげたもの。
D	ビザンティウム(207頁)
	アメリカ合衆国(17頁)
	キリ(278頁)
	ヒツパルコス(230頁)

D	山田長政(141頁)
	1巻にはない サガルマータ 2巻(107頁)
	『印象-日の出』(284頁)
	259万km ² で日本の約6.8倍(265頁)
	葉が5～9枚に深くさけ「イロハニホヘト」と数えられることから名がついた(269頁)
	イギリスのファラデー(183頁)
E	アメリカ合衆国物理学者のアラン・グースと日本の物理学者佐藤勝彦(299頁)
	いきもの、はポプラディアの項目にありません。つまり“いきもの”では引けないので、この質問はEランクなのです。 ない、とわかったら、なんなら引けるかを考え“生物(せいぶつ)”で引くと答えがわかります。
	紀元前550年にアケメネスによってペルシアに開かれた王朝(68頁)
	飼育の為にアクアリウムは水を入れるがテラリウムは水を入れない(64頁)
	ギリシャ神話に登場する不死身の英雄アキレウスのただ1つの弱点であったことから(64頁)